

廣告

新潟市内で対策セミナー

O型肝炎 今こそたたかとき

職域での検診促進を

（時事通信社主催）が6月、新潟市内の日報社ホールで開かれた。C型肝炎については治療効果の高い周期的な飲み薬が登場しており、登壇者は「C型肝炎は治る時代になつた」、「今こそ、ウイルスをなくさなくてはならない」と強調。フィルズ陽性者をしっかり見つけて治療につなげる必要性を指摘した。

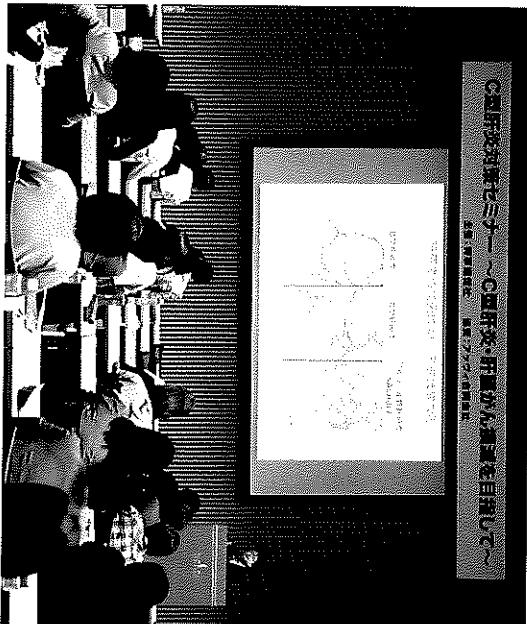
新潟大学医学歯学部第一病院
肝疾患相談センター
TEL:025-223-6192
FAX:025-223-5193
E-MAIL:jiver@med.niigata-u.ac.jp
受付時間／10:00～16:00



井上義一先生
新潟大学大学院 医生物学研究所
消化器内科学分野 教授
肝疾患相談センター長

第二章

早期治療、肝がん予防を



新編
新編

専門医療で独自に連携体制

提供:アリババ会員会社 <http://www.alibaba.com/>

國法公私事務之處置辦法

標明記

本邦に輸入するヒマワリの種子は、主としてヒマワリの栽培地である米国、苏联、カナダ、オランダ、イギリス等の諸國から輸入される。我が國では、ヒマワリの栽培が最も盛んなのは、北海道、東北地方、関東地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方の順位である。我が國のヒマワリ栽培は、明治時代より始まり、現在は、年々増加の一途を辿り、昭和20年には、約1,000万haの栽培面積を有するに至った。



民一號 雄川
厚生労働省 健康局 所長 桑原寛葉課
肝炎対策推進室 舟橋佐

改正指針に目標明記